

目次

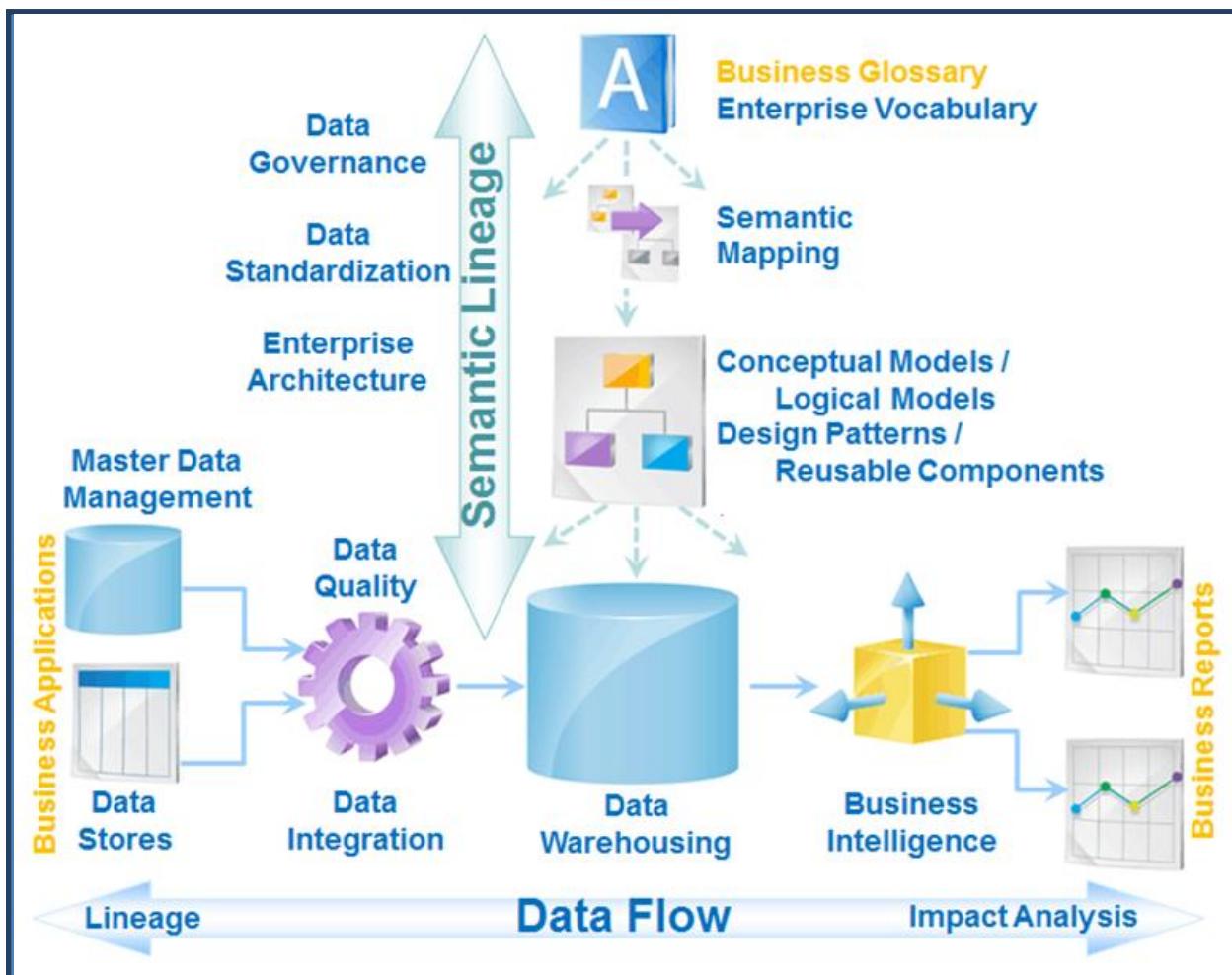
メタデータ・エクスプローラ概要	2
ユーザー・インターフェース	5
ユーザー・インターフェースの一般的概念	5
アクション・アイコンの配置	5
標準的なグラフィカル・ナビゲーション・ツールバー	5
タブレットまたはタッチ・デバイスでの使用	6
URL の共有	6
ユーザー・インターフェース・コンポーネント	6
グローバル・メニューを持つ最上部バナー	7
メタデータ・リストのユーザー・インターフェース・コンポーネント	8
メタデータ・ツリーのユーザー・インターフェース・コンポーネント	9
メタデータ詳細ページのユーザー・インターフェース・コンポーネント	10
検索のユーザー・インターフェース・コンポーネント	11
ダイアグラム視覚化のユーザー・インターフェース・コンポーネント	12
系統トレースのユーザー・インターフェース・コンポーネント	13
グラフィカル系統トレースのユーザー・インターフェース・コンポーネント	14
基本的な機能	15
メタデータの調査	15
メタデータのリストの参照	15
メタデータ・ツリーの参照	16
メタデータ詳細ページの表示	16
任意のメタデータ要素の検索	17
メタデータの注釈	18
検索およびレビュー用のラベル配置	18
メタデータ要素上でのラベルのタグ付け、表示または削除	18
ラベル割当てのレビュー	18
ラベル割当ての検索	18
フィードバック/コメントの送信とレビュー	18
コメントの追加/削除	19
レポート用語集のドキュメンタ	19

メタデータの分析..... 20

モデルのダイアグラムの視覚化	20
メタデータ要素のデータ・フローとセマンティック系のトレースと分析.....	21
セマンティック定義のトレース.....	22
セマンティック用法のトレース.....	22
レポートの表示.....	23
データ・フロー系.....	23
データ・フローの影響.....	23
系トレース全般.....	24

メタデータ・エクスプローラ概要

多くの大企業では、洗練された正確なメタデータ管理の必要性が大きな悩みの種となってきています。CASEツール、ETLエンジン、ウェアハウス、BI、EAI環境のほとんどすべてのコンポーネントに最新の情報テクノロジが組み込まれていますが、それらはメタデータ・リポジトリと同様にメタデータを含んでおり、メタデータから処理を導出することも珍しくありません。これらの環境のメタデータは分散、重複しており、アクティブであることも多く、通常、基礎をなす表示テクノロジに応じて、様々な方法論で表されます。



Oracle Metadata Management (OMM)は、メタデータ管理の多くの側面で、次に示すように、非常に広範囲の機能を提供します。

- データ・ガバナンス
- メタデータの注釈とラベリング
- メタデータの比較、統合およびマッピング
- バージョンと構成の管理
- データ・ライフサイクルに関連するメタデータの管理
- 系統および影響分析
- 企業アーキテクチャの開発、管理およびデプロイメント。

Oracle Metadata Management (OMM)の中心には、モデルやマッピングなどのリポジトリ・オブジェクトが含まれたリポジトリがあり、フォルダ構造になっています。モデルは、データベース、データ・モデリング(DM)、データ・ウェアハウス(DW)、データ統合(DI)および Business

Intelligence (BI)ツールのための、任意の外部メタデータ・モデルまたは外部メタデータ・リポジトリから収集できます。構成と呼ばれる特定のタイプのリポジトリ・オブジェクトは、モデルとマッピングを1つに接続して(メタデータ・スティッ칭)、データ・フロー系統および影響分析の完全サポート、セマンティック系統定義など、分析対象となるエンタープライズ・アーキテクチャ(EA)を表します。

免責事項

Oracle Metadata Management (OMM)ソリューションには、Oracle Metadata Management for Oracle Business Intelligence と、Oracle Enterprise Metadata Management の2つの製品が含まれます。これらの製品の各々は、次に示す完全な Metadata Management (MM)ソリューションのサブセットです。このため、このヘルプ・ドキュメントの一部の項は、Oracle Metadata Management (OMM)ソリューションに適用されないことがあります。

ユーザー・フィードバック、コラボレーションおよびレビュー

Oracle Metadata Management (OMM)のモデルが、適切な権限を持つユーザーによるレビューまたは承認(あるいはその両方)が可能な環境を提供します。これらのツールを使用して、表や列などの各オブジェクトにコメント(メモ)およびラベルを追加できます。コメントは、Oracle Metadata Management (OMM)の外にある外部メタデータ(外部メタデータ・ツールのユーザー・インターフェースでサポートされている場合)と同期させることもできます。

ユーザー・インターフェース

ユーザー・インターフェースの一般的概念

アクション・アイコンの配置

ユーザー・インターフェースのレイアウトに関しては、整合性とナビゲーションしやすさを可能にするため、いくつかの基本的なルールがあります。特に、アクション・アイコン(たとえば、「Search」または「View Reports」)は、次の2つのカテゴリに整理されています。

- パネル全体に関連するアクション(たとえば、モデルまたは構成)
- パネル内で選択したメタデータ要素(たとえば、モデルの表または列)に適用するアクション

UIにはそれに応じて配置されています。

- 全般的なパネル・アイコンは、パネルのヘッダーの右側に配置
- 選択したメタデータ要素のアイコンは、パネル(ヘッダーの下)のツールバーで左側に配置。

標準的なグラフィカル・ナビゲーション・ツールバー

系統概要、系統トレースおよびモデル・ダイアグラムは、非常にグラフィカルな結果であり、そのため、これらのグラフィカル・プレゼンテーション内での移動には、Oracle Metadata Management (OMM)全体で一貫して標準的なグラフィカル・ナビゲーション・バーが使用されます([「ダイアグラム視覚化またはグラフィカル系統のUI」](#)を参照)。

- 折りたたみ可能な[「Overview」](#)を使用して、ダイアグラムをすばやく移動。展開または折りたたみには、[「Overview」](#) ()アイコンを使用します。
 - 「Overview」ペイン内は、どこでもクリック可能。
 - 「Overview」周囲の長方形の表示領域をドラッグして、ダイアグラムのパンが可能
 - 「Overview」ペイン内で、長方形の表示領域の右下隅をドラッグしてサイズ変更が可能。
 - 「Overview」ペインの右下隅をドラッグしてペイン自体のサイズも変更可能。
- 拡大および縮小するにはスライダ・コントロール ()を使用。
- 最大限に縮小するには[「Fit Contents」](#) ()アイコンをクリック。
- ダイアグラム内の任意の場所でカーソルをドラッグすると、画面外の部分を現在のグラフィカル・コンテキストに表示。

メタデータ・エクスプローラのヘルプ

タブレットまたはタッチ・デバイスでの使用

メタデータ・エクスプローラ UI は、タブレットまたはタッチ・スクリーン式のデバイスでも適切に動作します。実際、コンテキスト(右クリック)・メニューは存在しませんが、かわりにアクション・アイコンを使用して選択した項目を操作します。

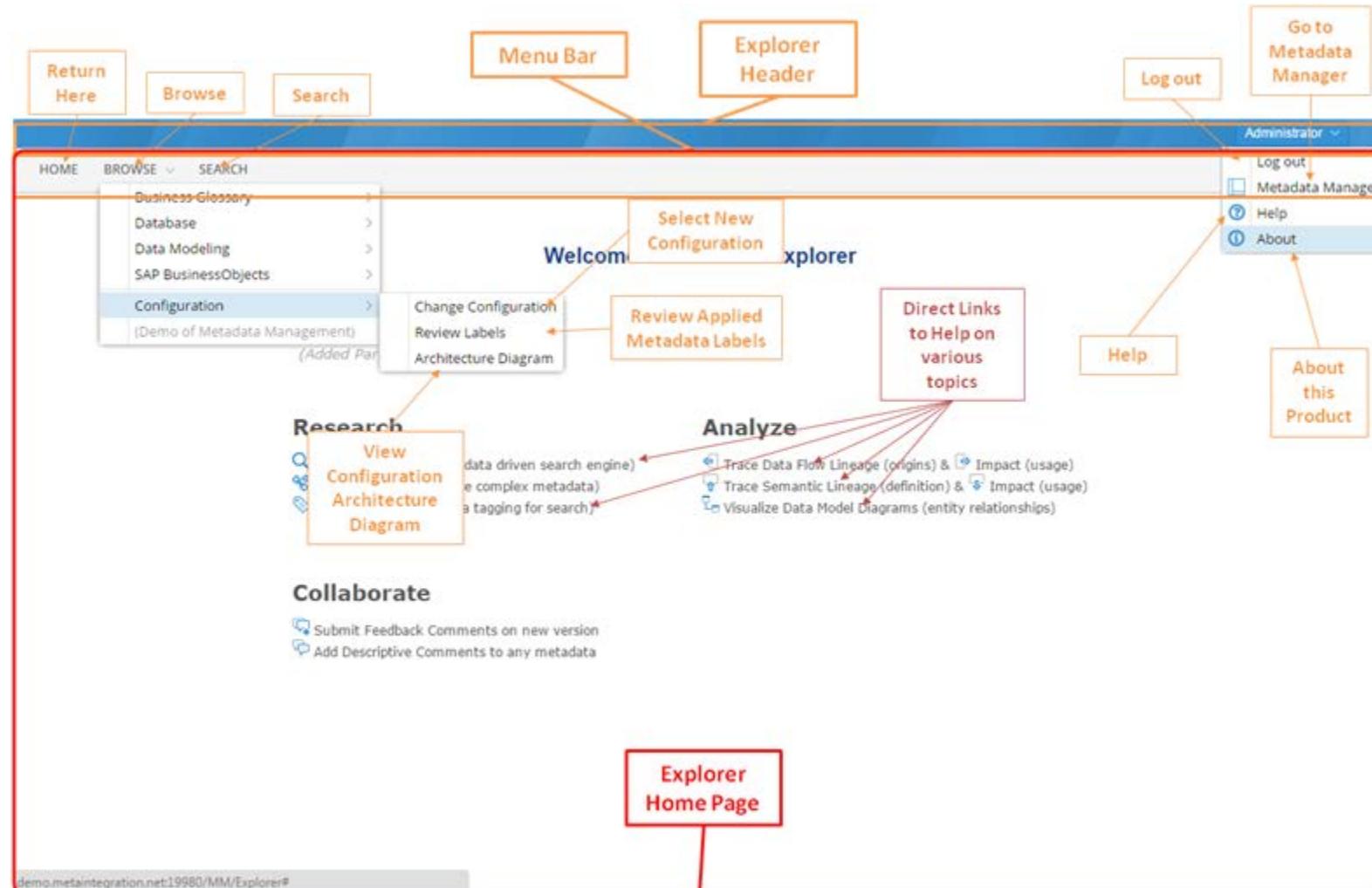
URLの共有

メタデータ・マネージャ UI とは異なり、メタデータ・エクスプローラ UI では、ブラウザで特定のページを表示する URL を共有できます。これは「ライブ」リンクで、モデルの新しいバージョンをインポートし、特定の構成に含める際にも機能します。

ユーザー・インターフェース・コンポーネント

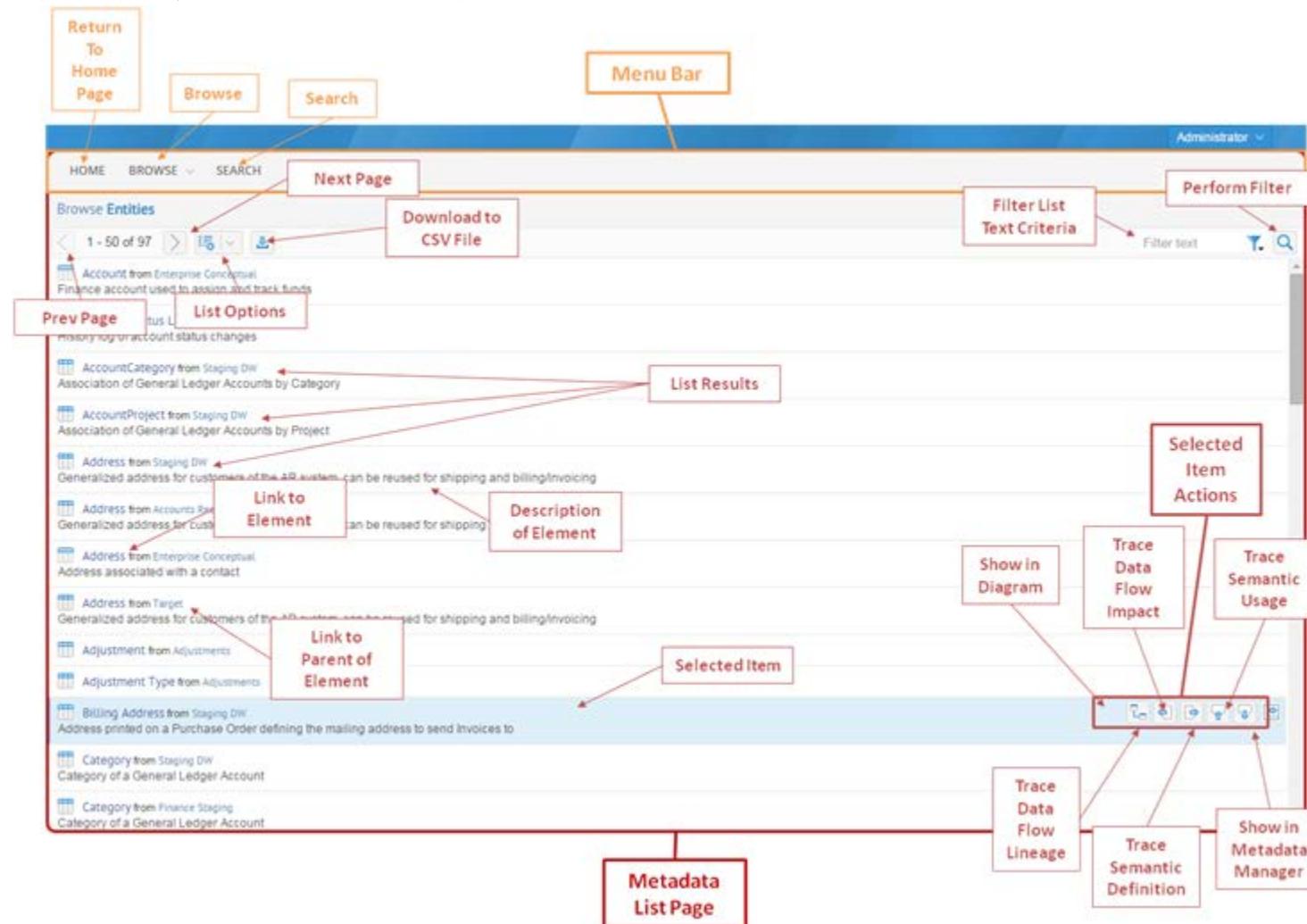
メタデータ・エクスプローラのヘルプ

グローバル・メニューを持つ最上部バナー



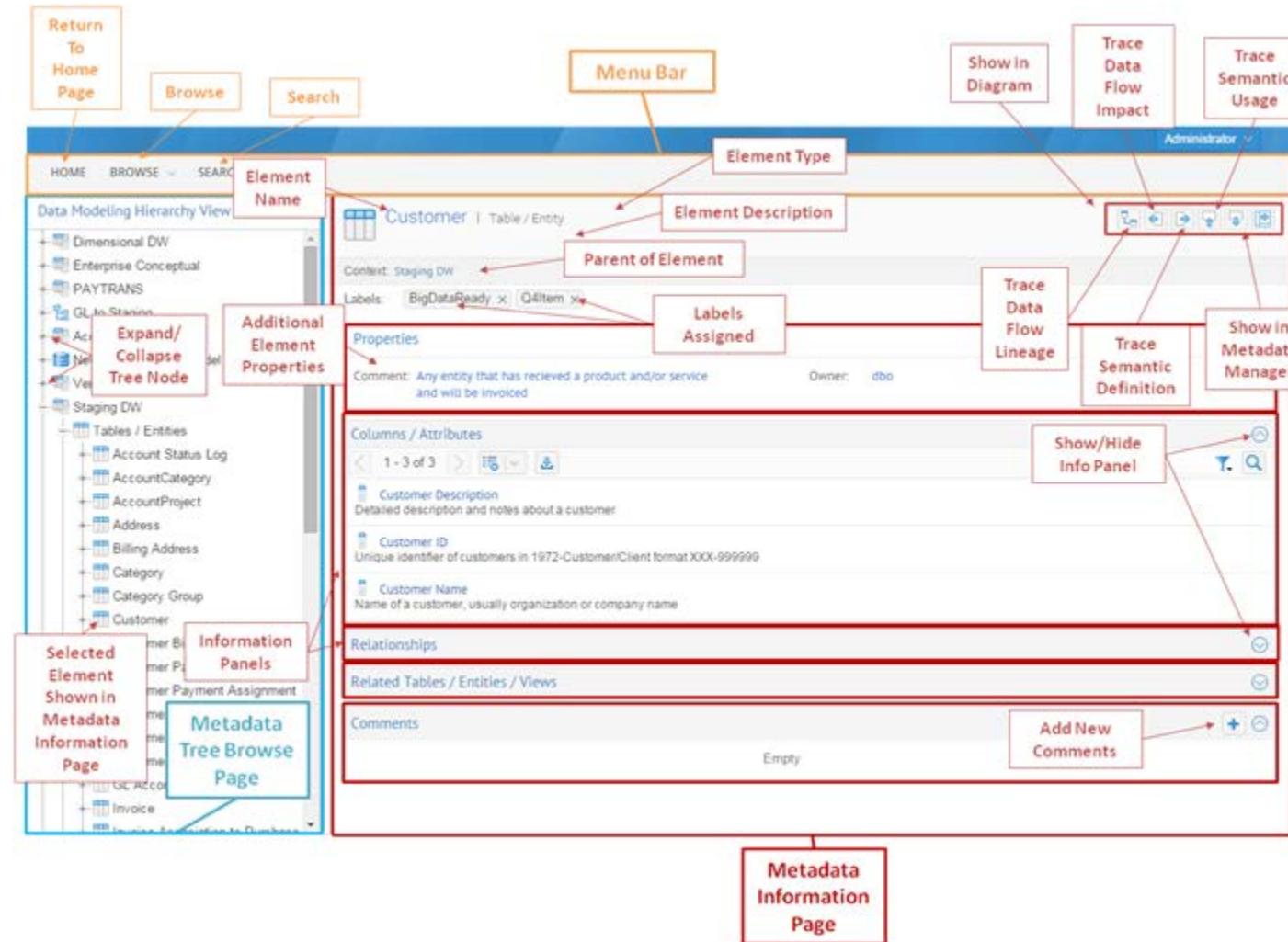
メタデータ・エクスプローラのヘルプ

メタデータ・リストのユーザー・インターフェース・コンポーネント



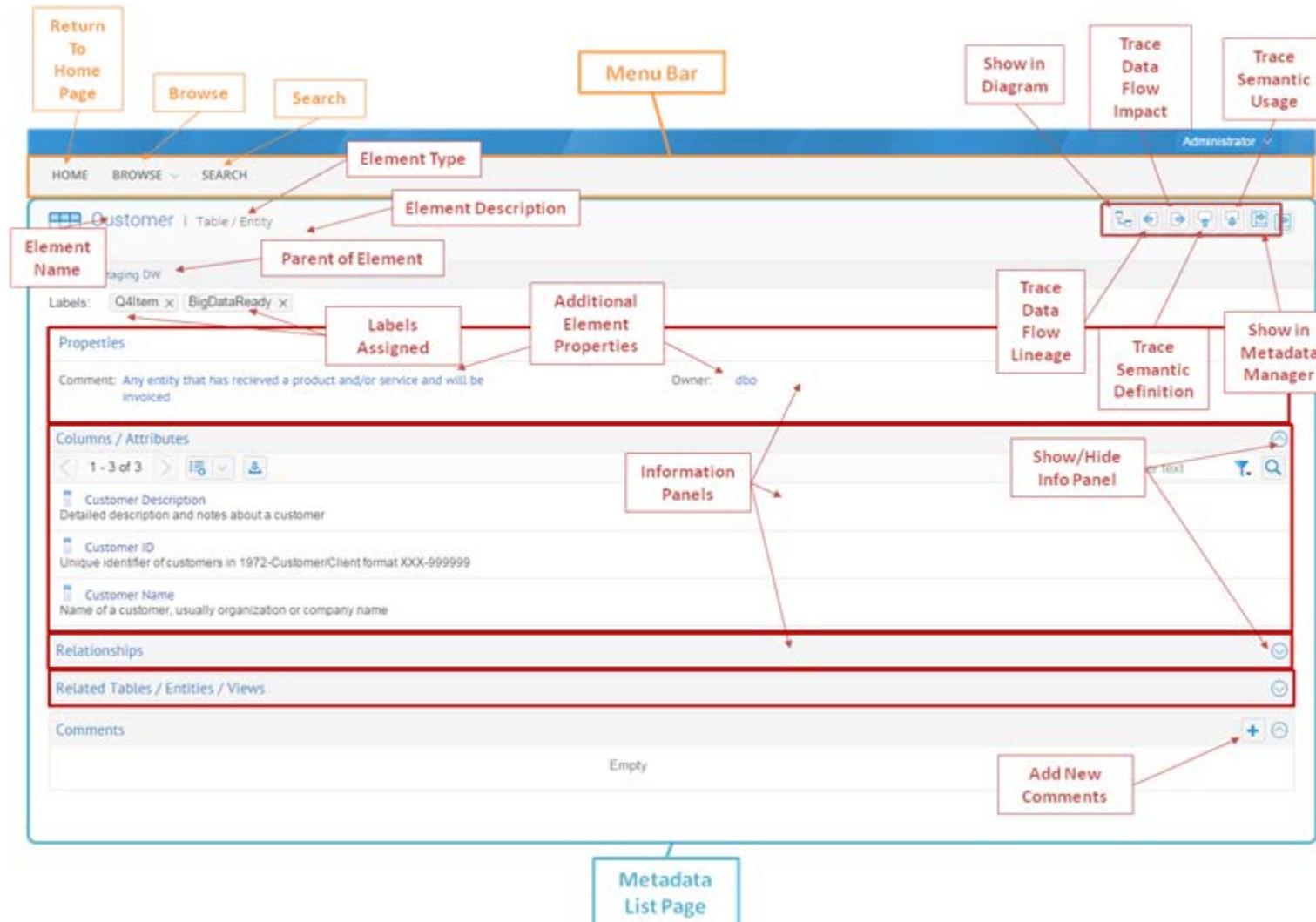
メタデータ・エクスプローラのヘルプ

メタデータ・ツリーのユーザー・インターフェース・コンポーネント



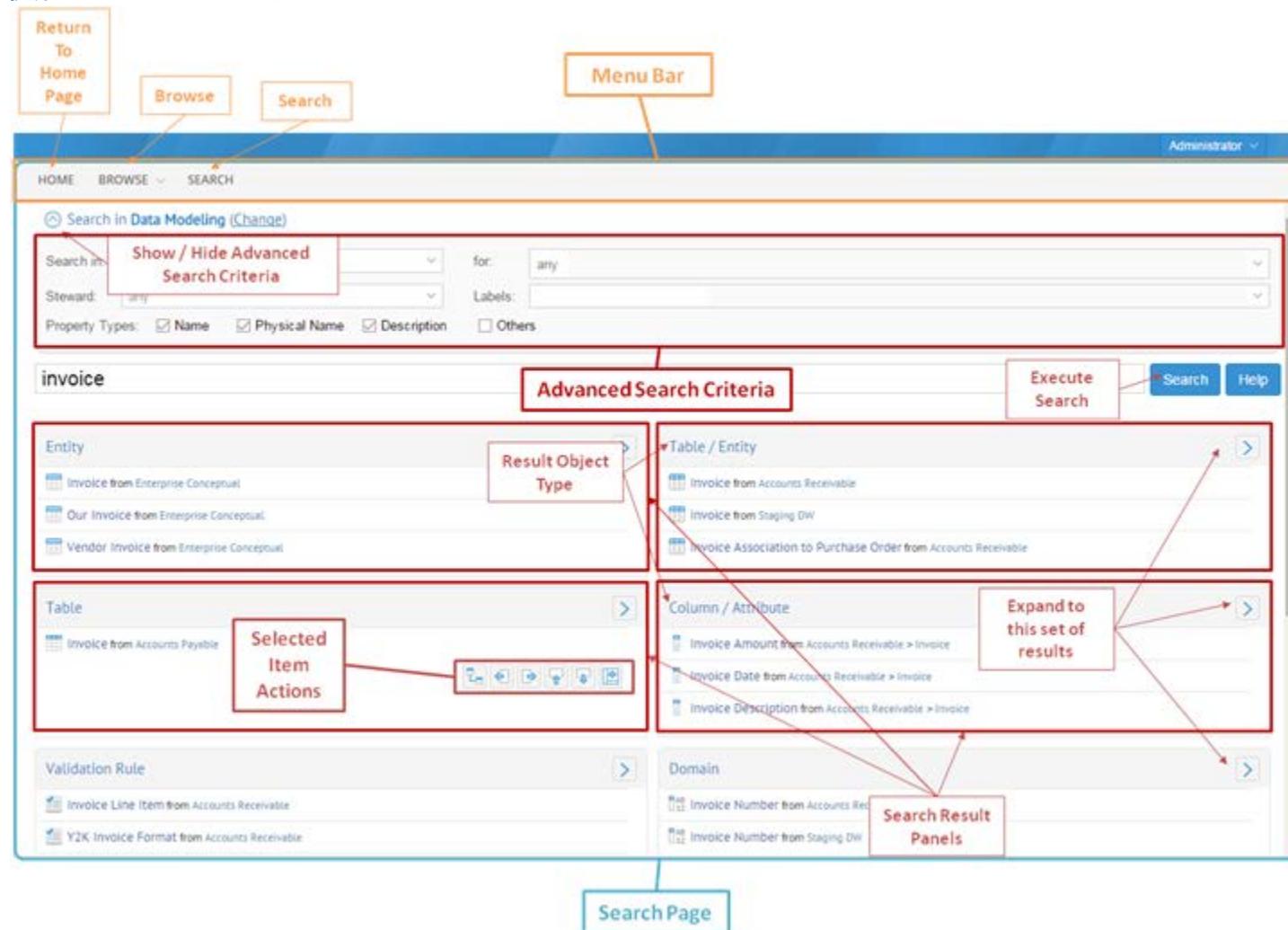
メタデータ・エクスプローラのヘルプ

メタデータ詳細ページのユーザー・インターフェース・コンポーネント



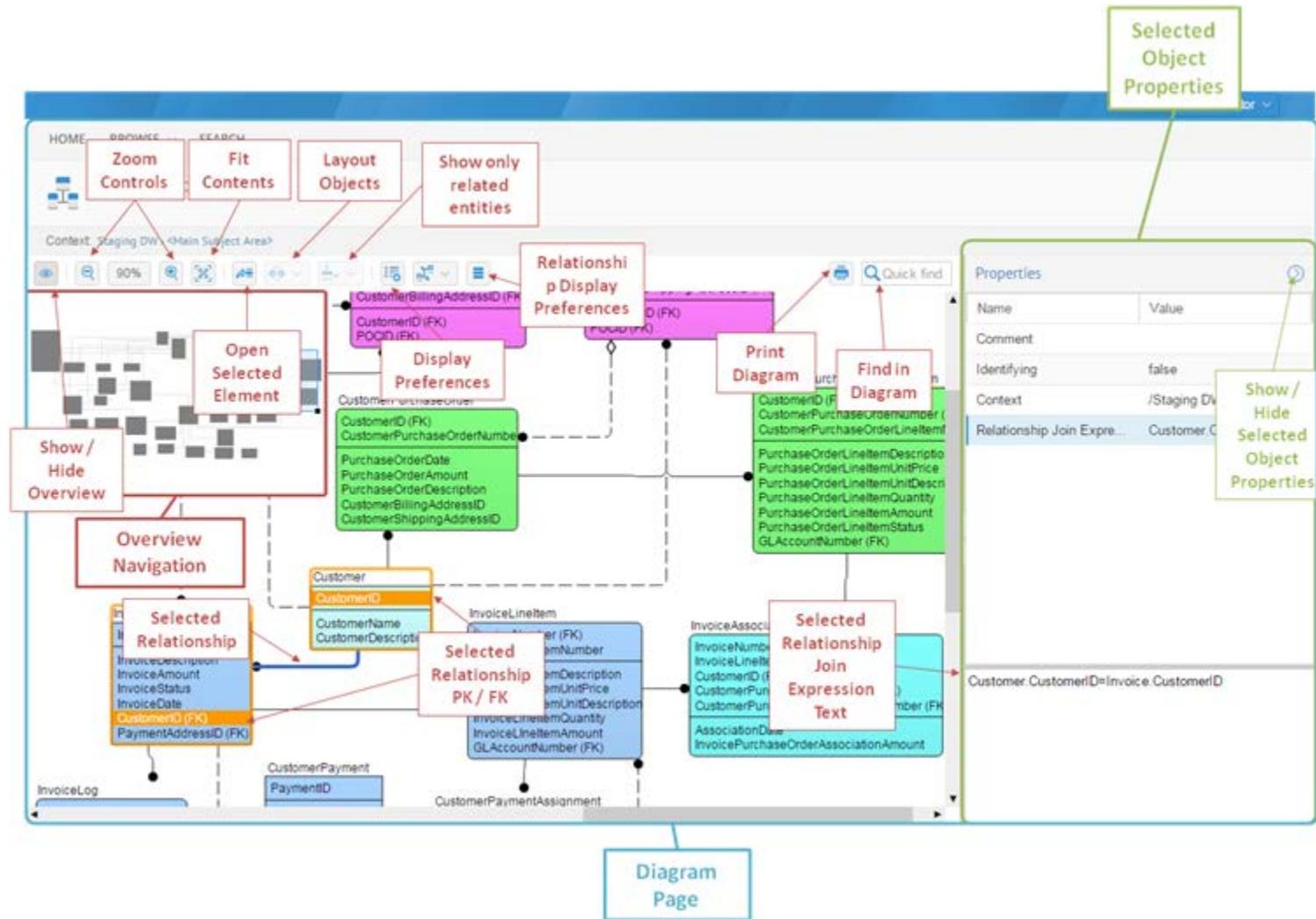
メタデータ・エクスプローラのヘルプ

検索のユーザー・インターフェース・コンポーネント



メタデータ・エクスプローラのヘルプ

ダイアグラム視覚化のユーザー・インターフェース・コンポーネント



メタデータ・エクスプローラのヘルプ

系統トレースのユーザー・インターフェース・コンポーネント

Switch to Column Level Details

Show on End objects or All

End Objects Only

Download

Textual Overview of Lineage Trace

Graphical Lineage Trace

Customer Purchase Orders (Report Page)

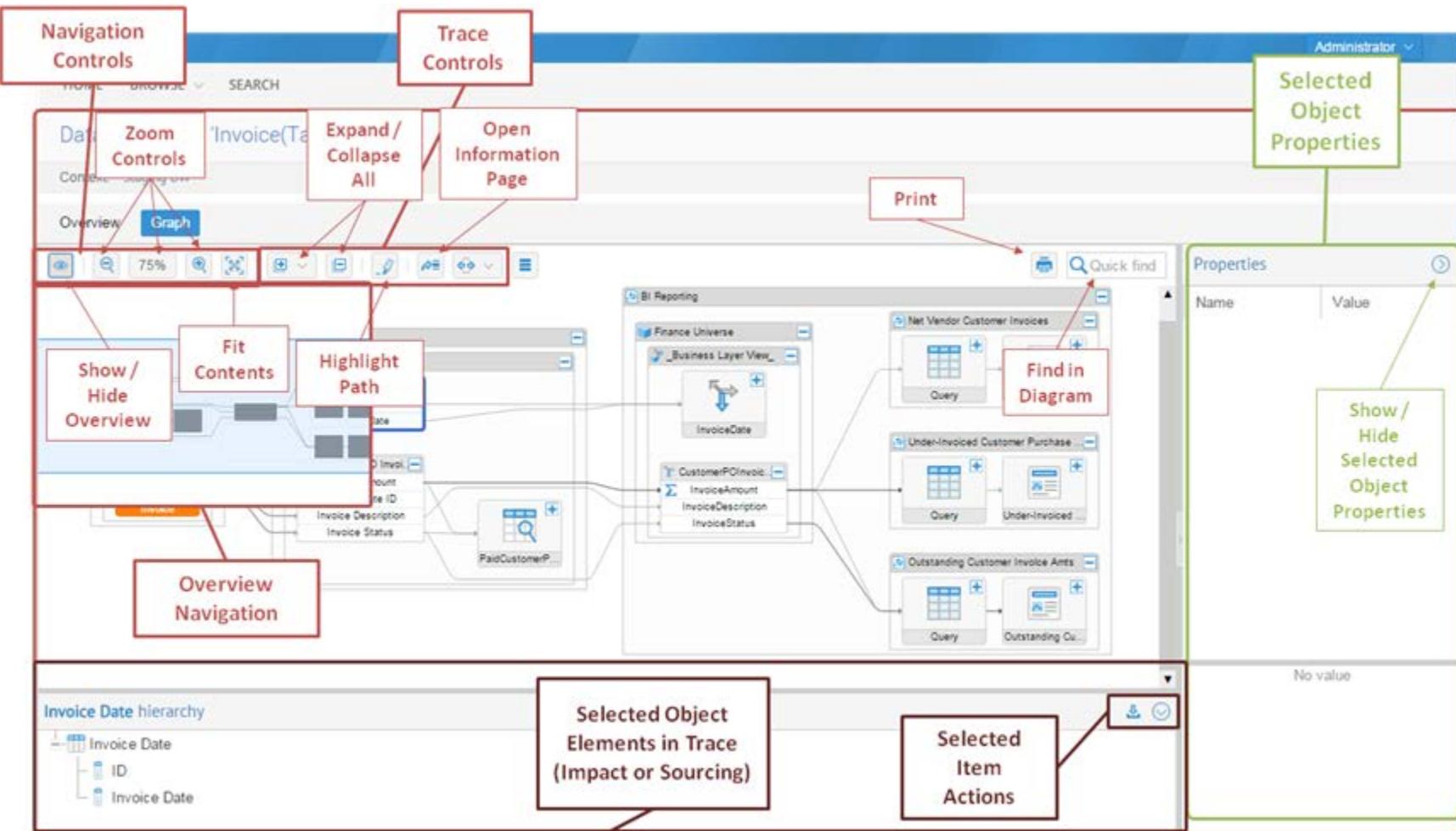
Customer PO Invoice Item (Table / Entity) **Next**

Identifies which objects are adjacent to the start of the trace

Lineage Page

メタデータ・エクスプローラのヘルプ

グラフィカル系統トレースのユーザー・インターフェース・コンポーネント



基本的な機能

メタデータ・エクスプローラ UI 内の任意の場所で、[右上のバナー・メニュー](#)を使用して次の操作を行うことができます。

- [Log Out](#) – セッションの終了または別のユーザーとしてサインイン(あるいはその両方)
- [メタデータ・マネージャ](#)に移動 – 新しいタブでメタデータ・マネージャ UI を開く
- [Help](#) – 新しいタブでオンライン・ヘルプを開く
- [About](#) – 製品情報のダイアログを開く

メタデータの調査

メタデータのリストの参照

1. [バナー](#)の [Browse](#) をクリックします。
2. 参照するメタデータのタイプを選択します。
 - データ・モデリング – データ・モデルからのメタデータが含まれます
 - データベース – データベースからのメタデータ、物理データ・モデル、およびその他のデータ・ソース・テクノロジが含まれます
 - 用語集 – ビジネス用語集の用語およびカテゴリ
 - その他の特定のテクノロジ(ビジネス・インテリジェンス・ツールなど)。
3. メタデータ要素のタイプの 1 つ(たとえば、[「Data Modeling」](#) → [「Tables」](#))を選択すると、選択した要素タイプのメタデータ・リスト・ビューが表示されます。
4. [ここ](#)では、次の操作が可能です。
 - リストで任意のメタデータ要素をクリックして、そのメタデータ要素に関する[メタデータ詳細ページを表示](#)
 - リストで特定のメタデータ要素の行をクリックして、メタデータ要素の情報ページに移動せずに、このメタデータ要素についてクリック可能なアクション・アイコンを表示
 - リストで各メタデータ要素の隣にリストされるコンテキスト(つまり [「from」](#) ...)をクリック(たとえば、リスト内でその列が含まれる表)
 - 結果で [\[> \(次\)\]](#) または [\[< \(前\)\]](#) のページに移動
 -  の選択
 - [ページ当たりの項目数](#)を選択
 - [昇順または降順での名前順のソート](#)
 - [リフレッシュ](#)
 - CSV ファイルへの  ([ダウンロード](#))
 - 次に示すような、高度な一致基準に基づく結果の  ([フィルタリング](#))
 - フィルタ・テキスト文字列が [名前](#)、[物理名](#)または[説明](#)に含まれている
 - 特定の(サブ)タイプの要素タイプが選択されている(たとえば、[ビュー](#)または[表](#))

- 特定のモデルの結果のみ
- 特定のスキードに割り当てられた結果のみ
- 特定のラベル(タグ)が設定されている結果のみ
- 一致テキストが特定の属性タイプの一部である結果のみ
- Reset**により、選択したフィルタ基準をクリア

メタデータ・ツリーの参照

- バナーの **Browse** をクリックします。
- 参照するメタデータのタイプを選択します。
 - データ・モデリング - データ・モデルからのメタデータが含まれます
 - データベース - データベースからのメタデータ、物理データ・モデル、およびその他のデータ・ソース・テクノロジが含まれます
 - 用語集 - ビジネス用語集の用語およびカテゴリ
- 「Tree View」オプションを選択します。選択した特定のタイプのメタデータに対応する、フル・ツリー参照インターフェースが表示されます。
- ここでは、次の操作が可能です。
 - 「Tree View」パネル:
 - メタデータ要素の展開または折りたたみ
 - メタデータ要素をクリックして メタデータ詳細ページを表示。

メタデータ詳細ページの表示

- 次のいずれかの方法で、メタデータ要素に移動します
 - メタデータのリストの参照
 - メタデータ・ツリーの参照
 - 検索
- このメタデータ要素の メタデータ詳細ページ が表示されます
- ここでは、次の操作が可能です。
 - コンテキスト(親メタデータ要素、たとえば、リスト内でその列が含まれる表)をクリック
 - このメタデータ要素へのラベルの 割当てまたは削除
 - いずれかの系統(   )アイコンをクリックして、そのメタデータ要素の 系統トレース を表示(可能な場合)
 -  アイコンをクリックして、メタデータ要素のグラフィカル・ダイアグラム を表示(可能な場合)
 -  アイコンをクリックして、メタデータ・エクスプローラ UI 内の同等のメタデータ要素に移動。
- ページの残りの部分には、このメタデータ要素に関する情報が 1 つ以上のパネルに表示されます。
 - 各パネルは、  (表示) または  (非表示) の各コントロールを使用して展開あるいは非表示。

メタデータ・エクスプローラのヘルプ

- 各パネルに、このページの対象となるメタデータ要素に関連付けられている特定タイプのメタデータ要素のリストを表示。メタデータ要素のリストが長大な場合、リストの一部分のみが表示され、ページ数とフィルタリングが示された、[参照時のメタデータのリスト](#)によく似たものになります。
- 最初のパネルに、このメタデータ要素に直接アタッチされるプロパティを表示。
- 最後のパネルは、[コメントを追加および編集](#)するために使用。
- [ここ](#)では、次の操作が可能です。
 - リストで任意のメタデータ要素をクリックして、そのメタデータ要素に関する[メタデータ詳細ページを表示](#)
 - リストで特定のメタデータ要素の行をクリックして、メタデータ要素の情報ページに移動せずに、このメタデータ要素についてクリック可能なアクション・アイコンを表示。
 - 結果を表示するこれらのパネルのいずれかに対して、[メタデータ要素のその他のリストの参照](#)時と同様に、CSV またはフィルタにダウンロード。

任意のメタデータ要素の検索

1. [バナー](#)の **Search** をクリックします。
2. 検索テキスト・ボックスの上の  アイコンをクリックするか、現在表示されているカテゴリの隣の [「Change」](#) をクリックして、検索するメタデータ・タイプのスコープを定義する検索カテゴリを選択します。
3. 検索テキスト・ボックスに検索テキストを入力します([「検索インターフェース・コンポーネント」](#) を参照)。
4. **Search** ボタンをクリックします。
5. 検索結果が表示されます。
6. ページの残りの部分には、このメタデータ要素に関する情報が 1 つ以上の結果パネルに表示されます。
 - 各結果パネルに、このページの対象となるメタデータ要素に関連付けられている特定タイプのメタデータ要素のリストを表示。メタデータ要素のリストが長大な場合、リストの一部分のみが表示され、ページ数とフィルタリングが示された、[参照時のメタデータのリスト](#)によく似たものになります。
 - メタデータ要素またはそのコンテキストをクリックして[メタデータ詳細ページを表示](#)
 - リストで特定のメタデータ要素の行をクリックして、メタデータ要素の情報ページに移動せずに、このメタデータ要素についてクリック可能なアクション・アイコンを表示
 - 任意のメタデータ要素タイプの結果パネルで  (このタイプのすべての結果を表示) をクリックして、そのタイプのすべての結果をメタデータ・リストに表示。
7. サポートされている拡張検索オプションに関する指示を受け取るには、任意の場所で **Help** ボタンをクリックします。
8. 検索カテゴリ・パネルで、次のような要素のみに結果を制限できます。
 - [検索](#)するために選択した一連のメタデータ要素タイプである
 - [特定のスチュワード](#)に割り当てられている
 - [特定のラベル](#)の 1 つを含む
 - [一致](#)テキストが特定のプロパティ・タイプの一部である。

メタデータの注釈

検索およびレビュー用のラベル配置

ラベルは、単一語の Oracle Metadata Management (OMM)を範囲とするメタ・タグで、モデル内の任意のオブジェクトに適用でき、検索やレビューの対象になったり、モデルまたは構成によって集中管理されたりします。

メタデータ要素上のラベルのタグ付け、表示または削除

ラベルでメタデータ要素にタグ付けするには、次の手順を実行します。

1. メタデータ要素リストまたはツリーを介して特定のメタデータ要素に移動します。
2. 「Labels」タグの右側の領域をクリックします
3. 新しいラベルを追加するには、そこで入力します(個々の単語が別々のラベルになることに注意してください)。
4. すでに定義済のラベルをこのメタデータ要素に割り当てる場合、そのラベルの文字を1つ以上入力して、表示される選択リストから選択できます。
5. ラベルの割当てを解除するには、単に削除します。

注意: ラベルの定義範囲は Oracle Metadata Management (OMM)全体です。任意のユーザーが定義したラベルのプールは、Oracle Metadata Management (OMM)全体で共有されることに注意してください。

ラベル割当てのレビュー

モデルまたは構成全体にわたってラベル割当てをレビューできます。

1. バナーの **Browse** をクリックします。
2. 「Configuration」オプションを選択します。
3. 「Review Labels」オプションを選択します。
4. 任意の数の単一語ラベルを「Labels」コンボ・ボックスに入力することも、コンボ・ボックス選択を使用して任意の数を選択することもできます。レビューするラベルは、任意の数だけ選択できます。

ラベル割当ての検索

モデルまたは構成内で検索する場合、次の操作が可能です

- 特定のラベルに対応する「Filters」パネルを使用して検索結果をフィルタリング。

フィードバック/コメントの送信とレビュー

コメントとは、モデルによる問合せ、レポート、レビューおよび管理の対象となる、自由形式のテキスト・ノートです。コメントは、作成者、作成時間、更新時間、重要度およびステータスを追跡します。ユーザーは、写真やマルチメディアなどの任意のファイルをモデルに添付でき、コメントにその参照を含めることができます。オブジェクト当たり1つ以上のコメントを残したり、他の人が残したコメントを参照したりできます。

ラベルとは異なり、コメントは、それが入力されたモデルの特定のバージョンにのみ適用されます。

メタデータ・エクスプローラのヘルプ

さらに、これらのコメントを後で Oracle Metadata Management (OMM)からエクスポートして、外部メタデータ・ツールで開き、そこで元の外部メタデータ・モデルの形式でレビューおよび編集できます(外部メタデータ・ツール・ユーザー・インターフェースでサポートされている場合)。

コメントの追加/削除

1. [メタデータ要素リスト](#)または[ツリー](#)を介して特定のメタデータ要素に移動します。
2. 最後のパネルは、コメントを追加および編集するために使用します。
 - a. 新規のコメントを追加するには、アイコンをクリック
 - b. コメントを編集するには、 (「Edit」)アイコンをクリック
 - c. コメントを削除するには、 (「Delete」)アイコンをクリック
3. コメントを編集する際、数個の星()をクリックしてコメントの相対的重要度を示すことができます。

レポート用語集のドキュメンタ

ビジネス用語集をビジネス・インテリジェンス・モデル(レポートなど)にマッピングする際、レポート内の要素から用語集内の用語への新しいセマンティック(定義)・マップをメタデータ・エクスプローラ UI で直接定義することができます。言うまでもなく、それを行うには権限が必要です(これらの権限を取得するには、Oracle Metadata Management (OMM)の管理者に連絡してください)。

1. 次のいずれかの方法で、レポートまたはレポート内のメタデータ要素に移動します
 - [メタデータのリストの参照](#)
 - [メタデータ・ツリーの参照](#)
 - [検索](#)
2. このレポートまたはメタデータ要素の[メタデータ詳細ページ](#)が表示されます
3. 用語集内の用語へのリンクを追加するには、「Glossary」パネル・ヘッダーの「Link to Term」()アクション・アイコンをクリックします。
4. ここでは、次の操作が可能です。
 - 用語を検索し、検索の隣の「More」プルダウンを使用して「More」検索オプションを選択
 - 用語が見つかるまで用語集カテゴリ構造を展開
 - ブレッドクラム・リストをクリックして、カテゴリに戻る
 - 用語集内に新しいカテゴリを作成
 - 用語集内の現在のカテゴリ内に新しい用語を作成。これにより、開いているレポートまたはメタデータ要素の名前および説明に基づいて用語が作成されます。独自の名前および説明を指定することもできます。

その後、用語は開いているレポートまたはメタデータ要素にリンクされます。

メタデータの分析

モデルのダイアグラムの視覚化

1. メタデータ要素リストまたはツリーを介して特定のダイアグラムに移動します。

○  アイコンをクリックします。

ここでは、次の操作が可能です。

- メタデータ要素をクリックして、そのプロパティを「Properties」パネルで表示。「Properties」パネルを表示(?)する必要がある場合があります(ページの右端)。
- 標準的なグラフィカル・ナビゲーション・ツールバーの利用。
- 「Display Preferences」()選択リストを使用して、次に示すようなモデルの表示オプションを指定。
 - 表記(たとえば、IDEFまたはIE)
 - 関係ラベルの表示または非表示
 - 最上部に行を表示。
- 「Open the selected object」()アイコンをクリックして、選択したメタデータ要素のメタデータ詳細ページを表示。
- 選択したメタデータ要素に対する系統のトレース()
- 選択した表に関連する関連エンティティのみを表示()
- 次に示すような、選択したメタデータ要素(何も選択されていない場合はダイアグラム全体)のダイアグラム・オプション()。
 - 関係行のラベルの表示/非表示
 - 関係行の名前の関係名の表示
 - 関係行のカーディナリティ表記のカーディナリティの表示
 - 関係行のロール名のロールの表示
 - 編集可能ダイアグラムの処理時にラベルを元の位置に移動するためのラベルの位置のリセット
- 全体的なモデルに適用されるアクション(モデル・ヘッダーの右側):
 - テキスト文字列を使用して、表示されたダイアグラム内でメタデータ要素をクリック検索()。
 - ダイアグラムの印刷()
 - モデルのダイアグラムにある関係の分析
 1. モデルを見つけ、モデルのダイアグラムの視覚化を行った後は、ダイアグラム内の関係を選択して次の分析を実行できます。
 - 関連付けられている主キーと外部キーをダイアグラム内の関連した表の中で強調表示する。複数のPK/FKペアがある場合、それぞれが異なる色で強調表示されます。
 - 「Properties」パネルで関係結合式をコピーして貼り付け、レポート・ツールで直接、同等の結合を定義するために使用できます。

メタデータ・エクスプローラのヘルプ

メタデータ要素のデータ・フローとセマンティック系統のトレースと分析

良好に管理されたメタデータは、詳細な分析が可能で、真にビジネス・レベルのユース・ケースを解決できます。Oracle Metadata Management (OMM)は、分類子(表、エンティティまたはディメンション)および機能(列、属性またはメジャー)のレベルまで、完全なビジネス・レベルの系統と影響分析をサポートします。

一般に、2つのタイプの系統があります。

- データ・ストアへの接続定義と、データを変換および移動する物理的変換ルールに基づいたデータ・フロー
- セマンティック(たとえば、概念的から論理的モデルまで、または論理的から物理的モデルまでの関係の詳細)。

Oracle Metadata Management (OMM)では、両方のタイプの系統を表示および分析できます。

系統トレーシングについて



データ・フロー系統

これらはレポート分析タイプのユース・ケースであり、一般に、次のような形で質問されます。

- レポート上の項目が指定されている場合、どのようなデータ入力システム・フィールドが、これらの結果に影響を与えますか。
- このレポート上の数値は、どうしてこのように示されているのですか。
- このレポートの結果を正しく取得するには、システム・データをどのように変更すれば良いですか。

このタイプの分析、すなわち情報源の究明は、データ・フロー内で逆行的に問われる質問です。これを逆行系統の質問と呼びます。これらのレポートのコンシューマからのこれらの質問に対する迅速で正確な答えは、メタデータ管理ソリューションでもたらされる最も有益な情報となります。



セマンティック定義

このシナリオでは、同じレポートから、これらのレポート・フィールドの意味を簡単に確認できます。



セマンティック用法

このシナリオでは、アーキテクチャ内でのセマンティック要素の用法(ビジネス用語集の用語など)を確認できます。



レポートの表示

このシナリオでは、特定のセマンティック要素(ビジネス用語集の用語など)に意味的に関連するフィールドを使用するビジネス・レポートを表示できます。



データ・フローの影響

最後に、ビジネス・ユーザーは、次に示すような順行系統や影響分析タイプの質問をする場合があります。

メタデータ・エクスプローラのヘルプ

- このフィールドを変更すると、どのレポートが影響を受けますか。
- このアイデンティティ情報は、どのようにして、これら他のレポートの人事システム情報にマージされますか。



セマンティック定義のトレース

このシナリオでは、同じレポートから、これらのレポート・フィールドの意味を簡単に確認できます。

- 次のいずれかの方法で、メタデータ要素に移動します

- [メタデータのリストの参照](#)
- [メタデータ・ツリーの参照](#)
- [検索](#)



- アイコンをクリックします

- 「Trace Semantic Definition」ダイアログに、そのメタデータ要素の完全な定義が表示されます。

ここでは、次の操作が可能です。

- 表示された用語をクリックして[メタデータ詳細ページを表示](#)。
- 「Show Semantic Definition Details」(アイコン)を使用して、[「Lineage Trace」ページを表示](#)。
- [「Show more」](#)リンクを使用して、アーキテクチャ(系統トレースを介して)および用語集(検索を介して)に他の定義を表示。



セマンティック用法のトレース

このシナリオでは、ビジネス用語集の用語または概念的あるいは論理的モデル要素から、データ・フロー・アーキテクチャでどのデータ要素が意味的にマッピングされていて、そのため用語またはモデル要素への変更によって影響を受けるかを簡単に確認できます。

- 次のいずれかの方法で、メタデータ要素に移動します

- [メタデータのリストの参照](#)
- [メタデータ・ツリーの参照](#)
- [検索](#)



- アイコンをクリックします

- 「Trace Semantic Usage」ダイアログに、そのメタデータ要素の完全な定義が表示されます。

ここでは、次の操作が可能です。

- 表示された用語をクリックして[メタデータ詳細ページを表示](#)。
- 「Show Semantic Definition Details」(アイコン)を使用して、[「Lineage Trace」ページを表示](#)。
- [「Show more」](#)リンクを使用して、アーキテクチャ(系統トレースを介して)および用語集(検索を介して)に他の定義を表示。

レポートの表示

このシナリオでは、特定のセマンティック要素(ビジネス用語集の用語など)に意味的に関連するフィールドを使用するビジネス・レポートを表示できます。

1. 次のいずれかの方法で、セマンティック・メタデータ要素に移動します
 - [メタデータのリストの参照](#)
 - [メタデータ・ツリーの参照](#)
 - [検索](#)
2.  アイコンをクリックします
3. 「Show Related Business Reports」ダイアログに、そのメタデータ要素に関するすべての該当レポートのリストが表示されます。
4. [ここ](#)では、次の操作が可能です。
 - リストの任意のレポートをクリックして[メタデータ詳細ページを表示](#)
 - リストで特定のレポートの行をクリックして、レポートの情報ページに移動せずに、このレポートについてクリック可能なアクション・アイコンを表示。特に、サードパーティ・ツールでレポートを開く「Open」()アクションがあります。

データ・フロー系統

これらはレポート分析タイプのユース・ケースであり、一般に、次のような形で質問されます。

- レポート上の項目が指定されている場合、どのようなデータ入力システム・フィールドが、これらの結果に影響を与えますか。
- このレポート上の数値は、どうしてこのように示されているのですか。
- このレポートの結果を正しく取得するには、システム・データをどのように変更すれば良いですか。

1. 次のいずれかの方法で、メタデータ要素に移動します
 - [メタデータのリストの参照](#)
 - [メタデータ・ツリーの参照](#)
 - [検索](#)
2.  アイコンをクリックします。
3. [「Lineage Trace」ページ](#)が表示されます。

データ・フローの影響

ビジネス・ユーザーは、次に示すような順行系統や影響分析タイプの質問をする場合があります。

- このフィールドを変更すると、どのレポートが影響を受けますか。
- このアイデンティティ情報は、どのようにして、これら他のレポートの人事システム情報にマージされますか。

1. 次のいずれかの方法で、メタデータ要素に移動します
 - [メタデータのリストの参照](#)
 - [メタデータ・ツリーの参照](#)

- [検索](#)

2.  アイコンをクリックします。
3. [「Lineage Trace」ページ](#)が表示されます。

系統トレース全般

系統に関するレポートを行うと、[「Lineage Trace」ページ](#)が表示されます。
次の操作が可能です。

- [Overview](#)、[Detailed](#) または [Graph](#) をクリックして、次を選択。
 - テキスト・ベースの系統概要を表示
 - 詳細な列レベルの系統レポートを表示
 - 系統の[グラフィカル・レポート](#)を表示
- パネルのヘッダーにある系統トレースに適用されるアクション:
 - 「Show: [End Objects Only](#)」 オプションを使用して、トレース内の中間オブジェクトを介さずに、最終ソース・オブジェクトのみを表示。
 - 「Show: [All Public Objects](#)」 オプションを使用して、トレース内の最終ソース・オブジェクトとともに、すべての中間オブジェクトを表示。
 - 「[Download Details](#)」 ()アイコンを使用して、トレースの完全なレポートが Microsoft Excel と互換性のある形式にダウンロード。

グラフィカル系統の解説

一般に、Oracle Metadata Management (OMM)機能内の系統ツールは、どちらもまったく同じで、データ・フロー系統、セマンティック系統のいずれか、または両方を分析します。ただし、次のようにプレゼンテーションが異なります。

		Thick Line	Thin Line
Data Flow Link	Black	Underlying Process (which may be expanded separately)	No Underlying Process
		Underlying Process with Transformation of the Data	Transformation of the data without an Underlying Process
	Grey	Underlying Process but simple pass-through	Simple pass-through and no underlying process
	Yellow	Control Flow which directly impacts values of columns (e.g., Lookup) and represents and underlying process	Control Flow which directly impacts values of columns (e.g., Lookup)
	Yellow Dashed	Control Flow which does not directly impact values of columns (e.g., Filter) and represents and underlying process	Control Flow which does not directly impact values of columns (e.g., Filter)
	Blue Dashed	Semantic link such as a derivation where there is an underlying process	Semantic Link such as a derivation

メタデータ・エクスプローラのヘルプ

さらに、Oracle Metadata Management (OMM)には4つのレベルのプレゼンテーションがあります。

- 構成モデルの [Connections Overview](#) – 構成内に含まれる様々なモデル、および Oracle Metadata Management (OMM)に手動で割り当てられている接続定義に基づいてどのように相互関連(スティッチング)しているかを表すダイアグラム。
- 外部メタデータ・リポジトリ・モデルの [Connections Overview](#) – 外部メタデータ・リポジトリのディレクトリ内に含まれる様々なモデル、および外部メタデータ・リポジトリで、すでに与えられている接続定義に基づいてどのように相互関連(スティッチング)しているかを表すダイアグラム。
- モデルの [Lineage Overview](#) – 特定のモデル内の系統の概要を表すダイアグラム。
- 構成もしくはモデル・レベルでの系統トレース分析 - 詳細分析のためのセマンティックまたはデータ・フロー系統(あるいはその両方)の完全詳細なトレース。